

民間の単科精神科病院での 禁煙外来と喫煙対策の実際



こころと身体のクリニック
医療法人社団
五稜会病院

中島公博・喫煙対策委員会

平成28年2月21日
第41回札幌市医師会医学会

はじめに

- 五稜会病院(以下、当院)は193床の単科精神科病院である。
- 平成14年の健康増進法で受動喫煙防止。ただちに、当院では喫煙対策委員会を立ちあげ、病院内の喫煙状況の調査を行った。
- 平成21年から敷地内禁煙、保険診療による禁煙外来を開始。
- 今回、敷地内禁煙化後の喫煙状況、喫煙対策の実情と禁煙外来の実績について検討したので報告する。

対象と方法

- 平成27年11月での当院の開放病棟(ストレスケア・思春期病棟:48床・療養病棟:48床)+デイケア通所患者に対して喫煙状況に関するアンケート調査(喫煙の有無、敷地内禁煙の考え等)を行った。
- アンケートは無記名。職員に対しては行っていない。
- 平成26年1月から平成27年9月30日までの禁煙外来実施患者の禁煙継続等について調査。診療録からアリンクマンインデックス、ニコチン依存度、禁煙外来受診回数、禁煙成功の有無等について確認した。

喫煙対策の道のり

- 平成20年9月
 - 禁煙化実施のためのプロジェクトチームを組織
 - 喫煙対策プロジェクト会議を定期的に開催(月1回~)
 - 禁煙化への環境整備
 - ・ 喫煙所の撤去、改修工事
 - ・ トイレに熱感知センサーを設置
 - ・ 院外での喫煙マナー啓蒙活動
 - ・ 職員による吸殻拾い運動
- 禁煙サポート通信発行
 - 平成21年4月 病院建物内禁煙
 - 平成21年8月 病院敷地内禁煙

禁煙外来の保険診療開始(日本禁煙学会認定医が担当)

敷地内禁煙後6年目の実態調査

喫煙に関するアンケート調査

療養病棟	40枚中 37枚回収 92.5%	デイケア	107枚中107枚回収 100%
ストレスケア病棟	41枚中 40枚回収 97.5%	総計	188枚中184枚回収 97.9%

部署	平成27年				平成20年	平成16年
	総計	非喫煙	過去の喫煙者	喫煙者	喫煙率	喫煙率
療養病棟	37	12	19	6	16.2%	40.6%
ストレスケア病棟	40	17	12	11	27.5%	63.6%
デイケア	107	36	44	27	25.2%	39.7%
急性期病棟	・	・	・	・	・	43.7%
職員	・	・	・	・	・	30.6%
総計	184	65	75	44	23.9%	40.2%

入院者による喫煙問題と対策

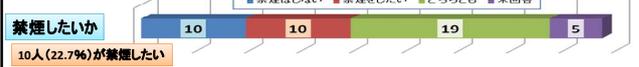
No	喫煙の問題	対応
1	夜間、乖離症状?を起し、室内で喫煙をした。部屋で喫煙しているところを看護師が発見する。	喫煙行為をやめてもらい、喫煙道具を預かる。翌日、乖離症状であっても敷地内禁煙を徹底することが重要であることを主治医や師長から口頭で説明、書面でも治療と敷地内禁煙の同意を得る。
2	浴室でタバコの強い臭いがあり、他患者から通報があった。報告者の前に入浴した患者に声をかけ確認すると否定した。	喫煙現場を見ていなくても、強いタバコの臭いがしたら指摘する。臭いがする疑わしい行動もしないように(吸殻を部屋に持ち込む)口頭で説明、敷地内禁煙の徹底を約束。書面でも同意を得る。
3	21時頃、病棟内にタバコ臭が広がりが苦情がくる。病室内で喫煙しているところを発見。	すぐに消火し厳重注意。本人同意のもと夜間のみタバコとライターを預かる。
4	夜0時、トイレの火災探知機が鳴る。ライター、紙に包んだタバコ1本を所持した患者を発見。	本人は「寝ぼけてた。間違えた」と意図的な喫煙を否定し、タバコとライターを預かってほしいと希望するため、夜間のみ預かる。

主治医から喫煙の弊害、病棟ルール遵守を指導
喫煙マナーの館内放送、病院敷地内巡回継続

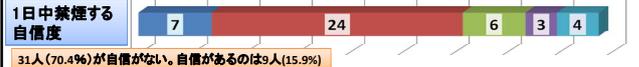
44人の喫煙者の検討



喫煙開始年齢: 20歳未満が20人(46.6%)



禁煙したいか: 10人(22.7%)が禁煙したい



1日中禁煙する自信度: 31人(70.4%)が自信がない。自信があるのは9人(15.9%)



禁煙の自信度: 38人(86.4%)が自信がない。自信のあるのは3人(6.8%)のみ

